令和5年度 第2回四日市市地方創生推進会議

〇日時:令和6年3月27日(水) 午後3時00分開会

〇場所:四日市市役所6階 本部員会議室

〇出席者:秋田 和伸(四日市商工会議所 商工振興部長)

(敬称略) 廣瀬 理恵 (株式会社 CBC クリエイション ディレクター)

別府 孝文(株式会社三十三総研 調査部長)

吉原 健一(ハローワーク四日市 次長)

〇傍聴者: 0名

〇内容 : 下記のとおり

事項1 開会

事務局(政策推進課長)から開会。杉浦委員長が体調不良により欠席のため、政策推進課長から挨拶の後、委員長代理として会議を進行。

事項2 資料説明

【資料1】四日市市デジタル田園都市構想総合戦略の策定について

【資料2-1】目標設定の考え方について

【資料2-2】四日市市デジタル田園都市構想総合戦略評価シート

事項3 意見交換

〇別府委員

<社会経済情勢の変化について>

- ・ 近年の社会経済情勢のキーワードについては、環境問題、デジタル、グローバル、人口 減少等大きなものは過去から変わっていない印象。
- ・ 人口減少、少子高齢化に伴う、人口の構造変化は様々な分野に大きく影響するので、特 出しでピックアップしてもよいのではないか。

- ・ コロナ渦では現状では在宅勤務やオンライン利用が普及したが、コロナ渦前に戻りつつ あるので過度に意識しすぎるのはどうか。
- ・ 災害リスクは防災減災復旧等多数の対応が必要になるため、環境問題から切り離して 考えてもよいのではないか。 気候変動からくるゲリラ豪雨等含めて安心安全につな がる。

<目標指標について>

- ・ 市内総生産や製品出荷額などは、結果がでるまでタイムラグがある指標がある。
- ・ 定住人口増の視点から流出流入の差や婚姻件数、病床数、高規格道路の延長等があってもよいのではないか。

〇吉原委員

・ 求人倍率はコロナ前の水準には戻っていない。企業側が人手不足の一方で、採用年齢にこだわりがある場合が多い。企業へ高齢者の活用を検討するよう働きかけを行う必要がある。現状は若い人を採用したい企業と生活のために高齢でも働きたい人で雇用のミスマッチが発生している。企業は技術伝承等の視点から、自社の年齢構成を気にしている。企業立地の際はハローワークとも連携をしてもらいたい。

〇秋田委員

<社会経済情勢の変化について>

・ 生成 AI という記載よりもデジタル化、D X 化というキーワードの方がよいのではないか。「地震に対する防災」というキーワードを見える形にしてもよいのではないか。 また平均気温の上昇に伴う、食糧不足やグローバル化、諸外国との協同連携というようなキーワードがあってもよいのではないか。

<目標指標について>

- ・ 件数だけで評価するのが一概によいというわけではないので、どういったものを設定 するのか幅広く検討する必要があるのではないか。
- ・ 評価基準 (ABCD) をもう少し細分化してもよいのではないか。また、KPIの設定数を増やしすぎないほうがよい。
- ・ 基本目標が抽象的なので、もう少し具体的なサブ目標のようなものを記載してもよい のではないか。

〇廣瀬委員

- ・ 超高齢化社会を迎えるにあたり高齢者をどのように活用していくのかは非常に大きな問題。それに紐づいてくる健康寿命を延ばす、地域包括支援システム(市立病院を含む)の充実・連携、介護人材不足に関しては項目としてもよいのではないか。
- ・ インスタグラム登録者とあるが、1年先に残っているのかが非常に不透明であり、流行り廃りがある。そのため、SNSに関してはどういった指標にするのか記載を検討していくべき。
- ・ 年少人口の増加数、人口増減率、出生数、転入超加率など、定住人口増に視点をおいた指標を取り入れるのも必要ではないか。統計がとりにくいものに関しては市政アンケート等により市民の声を入れてもよいのではないか。

.

4. 閉会

矢澤政策推進課長

目標設定が難しいものに関しても、適格なご意見をいただきありがとうございます。

私共事務局といたしましても市政アンケートの結果をうまく活用できるようなことも検討しながら、国の総合戦略や総合計画の中間見直しを踏まえ、来年度策定していきたいと考えております。また、皆様方のお力添えよろしくお願い致します。本日は誠にありがとうございました。